



39 創立：1984.7.10／証認：1984.8.6 国際ロータリー第2660地区 大阪鶴見ロータリークラブ会報

事務所：〒540-0001 大阪市中央区城見2丁目2番22号

ホテルモントレ ラ・スール大阪

電話：06-6937-8171 ファックス：06-6937-8011

例会日：毎週火曜日 12時30分／例会場：ホテルモントレ ラ・スール大阪

会長：津野友邦／幹事：稲垣良二／SAA：須田幸史朗

電子メール：rcosatrm@cf.mbn.or.jp

ホームページ：https://rc-osaka-tsurumi.jp/



IMAGINE ROTARY

イマジンロータリー

本日の例会

〈第1793回〉 2023年6月20 (火) 本年度第38回

卓 話

アフターコロナの経営と人材
～ 何が違って、何が変わらないのか？ ～

担当：山崎会員

●ロータリーソング
町に灯を

●ランチタイムミュージック
いのちの歌

次回の例会

6月27日 (火)

次回卓話

理事・役員退任挨拶
夜例会

前回の報告

PRESIDENT INFORMATION

会長インフォメーション

会長：津野 友邦

本日、卓和の時間を使わせてもらいまして大阪鶴見ロータリークラブ40周年記念事業・式典についてのフォーラムをさせていただきます。

今回実行委員長を仰せつかることになりましたが、どのような節目の場にするのが良いのかまだ検討前の段階でございます。

検討に際して過去の記録（5周年・10周年・15周年・20周年・25周年・30周年・35周年）の全てに目を通しました。

特に5周年の記念誌では、設立の経緯からその歩みが詳細に記載されており、歴史を感じ感動を覚えました。

最初の5年～10年で作った流れのパワーが強く、そのパワーの船に便乗させてもらった30年、という印象を受けました。

ステイタスシンボルであったロータリークラブは、時代の変遷とともに社会の中での意味合いが変わっ

てきたのだと思います。活動を考えれば会員数拡大も必要ですが、一方で裏表かもしれないが、楽しく活動を存続させるためには、夫々のクラブが強い個性を出す必要がある時代に入っているのではないかなと感じました。

40周年のテーマと事業について、皆様のご意見伺いたいのので食事をしながらイメージをしていたできれば嬉しいです。



ロータリー親睦活動月間

大阪鶴見ロータリークラブテーマ 「クラブ存続のための会員増強～次の10年に向けて～」



¥21,000.- 累計 ¥628,000.-

吉羽会員 新入会員歓迎会、おつかれ様でした。稲垣幹事が欠席され残念。

大阪鶴見RC国際交流基金

¥11,000.- 累計 ¥164,000.-

秀島会員 中村委員長に应えまして、国際交流基金積み増やします。

中村会員 国際交流基金運営委員会からの御願いです。次年度、作文コンクールの資金が不足です。ご協力をお願い致します。

中村会員 ロシアのウクライナ侵攻が早く終わり平和が訪れますように。新入会員歓迎会お疲れ様でした。

田中(信)会員 ロシアのウクライナ侵攻が早く終わり平和が訪れますように。新入会員歓迎会お疲れ様でした。

吉羽会員 寸志

卓話

40周年フォーラム

担当：40周年津野実行委員長

大阪鶴見ロータリークラブ40周年記念事業・式典フォーラム。

1. 過去のテーマ・記念事業

<5周年>

テーマ：明記なし（設立～5年の歩み）

記念事業：記念植樹（鶴見区役所前）、国際交流基金の設立

<10周年>

テーマ：花博記念公園‘鶴見緑地’に野鳥を呼び戻そう
記念事業：記念植樹（鶴見緑地公園）、野鳥の表

示板寄贈

<15周年>

テーマ：明記なし

記念事業：事務局へパソコン導入

<20周年>

テーマ：いのち 生き生き

記念事業：

- ・明日への扉へ協賛
- ・日本ライトハウスへ寄付
- ・鶴見区制30周年記念に絵画寄付
- ・骨髄移植推進財団へ寄付
- ・夏目雅子ひまわり基金へ寄付
- ・花博記念公園大池に水鳥の憩うフロート設置
- ・野鳥の表示板リニューアル

<25周年>

テーマ：明記なし

記念事業：横堤中学校へウォータークーラー

<30周年>

テーマ：「育もう いのち」

記念事業：鶴見の自然を育もう

- ・野鳥の銘板補修
- ・さつまいもの植え付けと収穫
- ・アーモンドの森づくり
友情を育もう
- ・姉妹クラブ締結式
- ・華朋社長挨拶
若者を育てよう
- ・バズセッション
東日本大震災復興支援
- ・大船渡西RCを通じての支援紹介

<35周年>

テーマ：鶴見緑地にアーモンドの森を作ろう

記念事業：ロータリー財団地区補助金活用により
100本のアーモンドの森完成

2. 40周年記念へのご意見

- ・子供を何らかの形で参加させる場になれば、台湾から来られた人にも共感してもらえるのではないかな。
- ・記念事業としては、家族も参加できるような事業があればと思う。

先週末は新入会員歓迎会、楽しんで頂けたようで良かったです。次年度は移動夜例会も計画していきますので、よろしくお願いします。

6/7に燦々会がありました。新旧の会長幹事が参加され、塩谷ガバナー補佐、最後の燦々会となりました。次回は7/26新年度の燦々会で、大阪関西万博への取り組みについて説明があるようです。

6/27は今年度最後の夜例会です。いつもと料理も変えて計画しますので、皆さまご参加下さい。



田中会員による
一本×動画

国際交流基金運営委員会報告

委員長 中村 浩一

今期も後僅かになりましたが、次年度の日本語作文コンクール開催の資金となる今年度の国際交流基金が不足しております。次回は節目の第30回開催となります。何卒ご理解頂きご協力を賜ります様宜しくお願い致します。

広報・IT・会報・雑誌委員会報告

「ロータリーの友」6月号記事紹介

委員 菊井 康夫

【縦組記事】

SPEECH・2022年4月10日RI.D2700
地区大会記念公演要旨 P4～7

「スマートファクトリーへの挑戦」(株)安川電機特別顧問 津田純嗣氏

＜日本の製造業の歴史＞日本中で製造の工程のオートメーション化(ロボット化)と科学的手法による経営管理(品質管理)。及び海外生産の拡大。このため日本の製造業生産は大きいのに日本のGDP、国内での製造業による成長が少なすぎるという現象が起こっている。しかし、中国はGDP、製造大国であるが、製造に使っているロボットは、ほぼ日本製(6割)かドイツ製。半導体の生産量は、台湾・韓国・

日本の順であるが、半導体の製造母機(マザーマシン)は超精密露光装置だけは圧倒的にオランダ、それ以外は日本とアメリカが占めている。マザーマシンと言われる工作機械は日本が圧倒的なシェアを世界で誇っている。

中国が力をつけている状況の中で、日本の製造業の将来は？

スマートファクトリー、AIや先端技術を駆使し、デジタルデータを基に業務管理を行う先進的な工場造りに挑戦している。が、今後の日本が本当に必要なものは、日本は技術屋が少なく、特にデジタル系の人材が少ない。このままだと今後大問題となる。今後の日本に必要なものとは何か、時代に合った人を育てるということがいつの時代でも大切であり、何とか実現したいと思っている。

【横組記事】

・ロータリー親睦月間にちなんで、世界のロータリアンと趣味でつながる国際親睦活動の紹介記事です

P7～15

ロータリー親睦活動の定義、その仕組み、参加するには、ロータリー親睦活動グループの設定の基準、どんなグループがあるかについての説明が載っています。どんなグループがあるかというところ、囲碁、釣り、アマチュア無線、バードウォッチングなど100以上の親睦活動グループがあります。ロータリアン国際スキーフェローシップのニセコでの初の日本大会開催の記事、モーターサイクルロータリアン国際親睦会の日本支部の活躍の記事が載っている。

・来年3月開催のIM3組ロータリーデーにローターアクトの参加を考えている我がクラブとして、ローターアクトのことを知ることができる記事が出ています。P20～21

4回に分けた「学ぼう! Rotaract」の最後の4回目「ローターアクトのこれからを確認しよう」です。今回はローターアクトの抱える課題を整理します。全4回分の記事を読んでローターアクトのことを学習しましょう。

・世界中で活躍する「世界を変える行動人」

P26～27

アイルランドでは、子どもたちが交通事故で危険にさらされないように、暗闇で周りからよく見えるような衣服の重要性を学校を訪れて伝える活動や、韓国では、ロータリアンが青少年施設の若者をロッテワールドに招致した活動などが載っています。

(3ページより)

- 40周年は派手にやる必要はないのでは。
50周年に派手にやれば良いのでは。
- 過去にやった事(アーモンド等)を振り返り、鶴見緑地でやったら良いのでは。
- 大阪万博の頃に実施すれば良いのでは。
- 会員が増えるきっかけになる事業になれば、と思う。
- 家族みんなで楽しめる、地元大阪名所めぐり、アーモンドの森を観光バスで回る等、大阪を再認識するものが良いのでは。
- 恵まれない子供たちのために何かをする。
例えば、公園のベンチを寄贈、バイキングを食べに連れて行く等。
- 家族を呼ぶタイミングを作るのが良いのでは。
- 恵まれない子供たちのために、何かできれば良いのでは。
- 20周年及び30周年の式典は、対外的な自慢のためのものであったのでは。とりあえず、内向きにやれば良いのでは。
- 家族ぐるみ、子供、地域、国際交流等を絡めたものになれば良いのでは。
- 何のために周年事業をやるのか。
親クラブや、チャーターメンバーをはじめとする先輩方に感謝する機会にすべきでは。
- 将来へ向けての方向性の確認が重要。周年記念の意義を決めた上で内容を決める手法を取れば良いのでは。今まで大事にしてきたのは「命」。

- 命に絡めた形にするのか?伝統を変えるのか、続けるのか、といったテーマについて、今後の行き方を考える機会とすれば良いのではないか。
- 新入会員の個性も生かし、クラブに新しいテイストが生まれる契機となれば良いのでは。
40周年を心から祝い、思い出に残るイベントにするため、本能的にやりたい事を一部取り入れるのもアリでは。

出席報告		6月13日【1792回】	
会員数	26名	ビジター	0名
(内出席規定免除	9名)	ゲスト	0名
出席会員	17名中 11名	出席総数	16名
出席免除会員	9名中 5名	前々回	M/U 8名
出席率	16/22 72.73%	修正出席率	5/30 100.00%

災害支援プロジェクト

ライトミール振替5月分 ￥8,500.-

累計: ￥1,074,534.-

本日のロータリーソング

町に灯(ともしび)を

出会いの挨拶してごらん
並木さらさら葉から葉へ
人にやさしい町の風
ロータリー ロータリー
廻って 守れ 風車になって
地球がきれいな息をする